

有機農業の拡大に向けた意見交換会の実施

持続的な農業と農産物生産の取組拡大に向け、生産者・流通業者・消費者との意見交換を重ね、みどりの食料システム戦略推進課題を整理し、関係者が連携して取り組む

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略、食品流通

○ きっかけ・背景、課題の把握

令和4年度から有機農業の生産者団体、食品事業者及び消費者団体と個別に意見交換を重ね、有機農業の拡大には、消費者の理解醸成や流通事業者への働きかけが重要であるとの課題を把握。

令和5年度は、有機農業に取り組む農業者、食品事業者（スーパー）及び消費者との意見交換に取り組むこととした。

○ 取組の内容

令和5年8月31日、有機農業に取り組む農業者と食品事業者のそれぞれの課題をお互いに共有するため意見交換会を実施。農業者からは、行政に対し有機農産物の消費拡大の取組へ期待する意見が出された。食品事業者からは、販売する上での課題、取組方針及び有機農産物消費拡大へのアイデアが出された。

意見交換会で共通して出されたキーワードが「消費者の理解醸成」であったため、有機農産物の消費拡大に向け、令和6年2月に食品事業者と消費者（有機農産物購入者含む）等との意見交換会を実施した。

○ 効果・成果、今後の方向性

今後、これまでの取組に加えて学校給食、病院食等での有機農産物等の環境に配慮した食材利用に向け関係機関と連携し、取組を広げることとしている。



意見交換会の様子



有機農業に取り組む農業者

体制図

